

一 般 質 問

令和元年9月9日（月）

11番 上村 賢 議員

1. 石狩湾新港について

- ①前市長は石狩湾新港を石狩のエンジンとたとえた。また、新港企業から得る市税収入は全体の4割を占め、これからも石狩湾新港の役割は非常に大きい。近年は、エネルギー拠点としての役割も担い、特に再生可能エネルギー産業への期待は大きいと思える。そこで、新市長の描く石狩湾新港の将来像は、どの様に描いているのか伺う。
- ②新港企業からの税収入は伸びているものの、新港地区は約3割の土地がまだ売れ残っている。港を保有する自治体として、企業誘致が進むと港の発展にもつながる可能性がある事から、管理者である北海道としっかりと連携をして企業誘致を積極的に行うべきと考えるが市の考えを伺う。
- ③石狩湾新港は、石狩市の顔として大きな役割を果たしている。しかし、石狩市民との距離が大きくあると思える。道内の主要港は、夏になると港に人が集まり、港でお祭りが開催され、少なからず年に1度は港へ足を運ぶ機会がある様に思える。また、港を保有する隣の小樽市の小樽港を見てみると、休日には港に人が集まり賑やかな状況が見受けられる。そこで、将来の石狩湾新港は、市民が親しみを持てる港作りも重要と考えるが今後の取り組みについて市の考えを伺う。

2. 東京事務所について

- ①東京事務所は平成23年7月に開設され、8年目となった。東京事務所の設置目的は、企業誘致はもとより、国の施策や社会情勢に適宜・適切に対応するほか、各中央省庁並びに民間事業者等からの情報収集を行うとともに、観光物産宣伝や東京石狩会等を含め、本市における広範な施策の展開を図ると説明されていますが、これまで東京事務所を維持するための経費と出向された述べ人数をお伺いし、これまでの東京事務所への評価を伺う。
- ②現在の東京事務所の体制、そして今後の東京事務所へ期待をする事、さらに市長任期内の明確な目標設置も必要と思えるが考えを伺う。

3. シティプロモーションについて

- ①自治体の運営において、自治体が持つ様々な魅力をアピールすることで、より多くの観光客の入り込み数を増やし、さらには、市特産品や農産物などを地域外の方々に購入して頂き、街を活性化させていこうという意図も持ち、また、この先、少子高齢化が加速して行く現状で、定住者や交流人口、転入者の取込みを図る事の必要性も合わせて求められている。本年度も、肉付け予算においてシティプロモーションに予算の

確保を行い政策の実行が行われる。これまでもシティプロモーションが行われているとお聞きしているが、本年度のシティプロモーションはどのような戦略で行われるのか伺う。

4. 訪日外国人観光について

①訪日外国人観光客が増え続け、昨年度の訪日客数、過去最高の3,119万人を記録した。また、2019年6月21日公表された観光白書によると、地方への効果が進んでおり、2018年度は、三大都市圏外の地方を訪れる旅行者約1,800万人が、三大都市圏のみを訪れる旅行者約1,300万人の1.4倍に拡大したと報告されている。そこで、これまでに行われてきた石狩市の訪日外国人観光客に対する取り組み、また新市長になられて、今後どのような取り組みを考えられているのか伺う。

5. 東京オリンピックへ向けての取り組みについて

①来年7月24日の開幕まで1年を切った東京オリンピック・パラリンピック。56年ぶりとなるスポーツの祭典に向けて、色々な取り組みがなされている。また、テレビ番組を見ていると随所でオリンピック・パラリンピックの番組編成が見られ、まさしくオールジャパンによる取り組み準備と思われる。石狩市も庁内にオリンピック担当を設け、ソフトボール競技を中心に活動がなされている。また、私も改選前には合宿誘致、ホストタウン登録への取り組み状況などの質問を行い、石狩市のこれまでの取り組みに関しては一定の理解をしている。そこで、開催まで1年を切り、改めてホストタウン登録への状況など、オリンピックへ向けての市の取り組み状況を伺い、本年度はどのような取り組みを行っていくのか伺う。

②2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合に石狩市も参加されている。この組織は、地方自治体にとって各地方の魅力を世界中の方に知っていただく機会と捉え、各地域のあらゆる魅力を改めて発掘・整理し、意欲ある地域が手を携えて日本の総合力を発信するために設立されたとお聞きしている。この組織は新潟県三条市の市長を会長に、平成28年2月から複合ビル虎ノ門ヒルズのすぐ近く、オリンピックのメインスタジアムと選手村とを結ぶシンボルストリートにて、オリンピック本番までの3年半、地方の魅力を情報発信するイベント、旅するマーケットを開催し、ターゲットは日本を訪れる外国人観光客で、外国人に狙いを定めて地方の魅力をPRする仕掛けが行われているとお聞きしている。また、インバウンド×キャッシュレス地域経済活性化最先端モデル事業なども行われるとお聞きしている。石狩市もこの組織に参加表明を行っているが、参加までの経緯、参加後の状況および今後どのような活動がなされて行くのか伺う。

6. AI・RPAを活用した行政運営について

①人口減少が急速に進行する社会において、各産業は労働力不足の課題が大きく持ち上げられている。今後もますます、労働力不足が深刻化し、行政分野にも波及することが予想される。また、各自治体に対しては、多様化する住民ニーズやスマートフォン等のIT機器の普及により、コミュニケーション手段の変化に合わせた行政運営による

サービスの提供も求められている。こうした課題に対応するため、多くの自治体ではRegion-Tech構想を進め、行政分野におけるAI・RPAを活用した行政運営の検討・検証を積極的に始めている。石狩市も積極的に将来を見据えた行政運営の検討・検証を取り進めるべきと考えるが市の考えを伺う。

7. 土地開発公社の解散により取得した土地について

- ①平成28年、土地開発公社の解散により16,642㎡の土地を引き継いだ。前市長は公的な利用目的のない土地については、民間業者等の活用が図られることが望ましいと答え、売却も検討されていた。また、当該保有地にふさわしい活用となるよう適切に取り組むとの考えを示されていたが、現在のこの保有地の状況と今後の処分について伺う。

5番 松本 喜久枝 議員

1. 石狩市における生活困窮者に対する減免制度について

石狩市の生活困窮による市民税減免判定等に関わって以下、3点についてお伺いいたします。

- ①道民税・市民税の減免について
- ②生活困窮という判定等について
- ③申請時における、窓口の対応等について

2. 認定保育所等の保育内容、その他について

10月から実施される教育の無償化による影響と、認可保育所、または認定こども園などのあり方に対する基本的な考え方と、以下の2点についてお伺いいたします。

- ①保育園の子ども定数以上の受け入れと、それに伴う施設環境の変化と、保育環境への影響等について
- ②保育士の労働状況、勤務実態等について

3. 石狩市の生活困窮者支援制度で行う、住宅確保給付金制度等について

離職や給料未払い等により、収入が途絶え、家賃等が払えない恐れがある場合に一定期間給付を行う「住宅確保給付金制度」について、以下4点の質問をいたします。

- ①周知方法について
- ②申請等について
- ③受給期間中の要件等について
- ④就労支援の効果、実際に常用就職に結びついた件数

4. 石狩市におけるドローン規制等について

ドローンは地域によって飛行時の規制が独自に定められていますが、石狩市における状況について以下、2点についてお聞きします。

- ①航空法、道交法、民法、電波法等の他、地域によって定められているドローン飛行の

際の、石狩市の住宅密集地以外での規制はありますか。

- ②石狩市として、ドローンを使用する場合の条例をつくる考えはあるのかどうか、お伺いいたします。

3番 遠藤 典子 議員

1. 不審者対策について

- ①学校との連携、地域との連携を含め、取り組みと対策の現状について
- ②不審者から子どもを守るという市民全体の意識向上を図るため解りやすく情報共有する方法として「不審者発生マップ」の作成と活用の提案
- ③防犯カメラの増設について

2. 新港南2丁目付近の異臭対策について

- ①企業側、石狩市側の定期的な検査内容、数値、対策などの現状を広報で情報提供することについて
- ②石狩市としての今後の対応について

3. 乳幼児への指定ごみ袋無償交付について

- ①10リットルか20リットルを希望選択できないかについて

4. 不法投棄について

- ①現在の対策とその評価と今後の課題について

16番 山田 敏人 議員

1. (仮称)石狩市都市骨格方針について

- ①災害に強い都市構造と地域防災力の連携について
- ②石狩湾新港地域就業者の居住推進について

2. 石狩市の財政健全化について

財政健全化について石狩市の公債比率の低減をはかり、将来の社会保障費の増加に対応すべきと考えるがいかがか。

3. 石狩市の税収対策について

北海道や札幌市で、観光宿泊税等が検討されているが石狩市として考え方を伺う。

4. 廃棄物の不法投棄の対策について

廃棄物の不法投棄が毎年散見されるが不法投棄の処理費用が市の負担となっている。効果的な対策を講じるべきと考えるが市の対応を伺う。

5. 高齢化に伴う町内会組織への市職員の積極的参加について

町内会組織に市職員が関わっている実態を伺う。

6. 今年度の除排雪計画について

昨年度は排雪のダンプトラックの不足から排雪計画がずれ込むなどの状況があったが今年度について必要な予算の確保と計画実施に向けて状況を分析しながら、きめ細かな除排雪を実施することが望まれるが市としての対応を伺う。

7. 子どもの学力向上、体力向上について

全国学力テストなどで全国平均を下回る傾向の小中学生の学力向上のためIT関連をはじめとした教育施設整備を充実させることも必要と考えるがいかがか。

8. 人口減少対策のための小中学生の社会見学の充実について

人口減少対策として小中学生の社会見学を充実させることにより石狩で働く魅力を高めることにつながり子供たちの石狩市に定住する可能性が高まると考えるがいかがか。

12番 大野 幹恭 議員

1. 介護行政について

①包括支援センターの機能・体制強化について

高齢化率の今後の益々の高まりに備え、包括支援センターの機能・体制強化は喫緊の課題となっている。今後についての具体的方策について、お考えを伺う。

②共生型サービスについて

イ. 石狩市の現在の状況について

ロ. 今後、障がい者の親亡き後の問題や重度訪問介護についても重要なテーマとなってくる。石狩市の取り組み状況と今後についてのお考えを伺う。

2. 農畜産業振興について

①日米貿易協定合意と農畜産業の振興について

イ. 日欧EPA、TPP11、に続く先般合意の日米貿易協定、良くも悪しくも北海道農業への影響は避けられない見通しの現状、耕種農業、畜産業の影響分析は

ロ. 就農担い手の確保、生産性向上や消費拡大への取り組み等、地元農畜産業経営改善のための支援策、対策強化進展の現状は、改めて伺う。

②農畜産業のICT化促進について

無人トラクター操舵システム等、スマート農業分野の開発研究がすすめられ、実用化が近い現在、市内の農業・畜産業の方々に、市としていち早くその取入れに力を貸すことが出来るよう備えていくべきでは、お考えを伺う。

3. 再生可能エネルギー政策について

①北電・石狩市の再生可能エネルギー発電事業に関する地域連携協定について
その詳細を、また今後どのように生かしていくのか具体的なお考えを伺う。

②再生可能エネルギーの導入と利用等の促進について

時代の潮流となっているESG投資とSDGs、再生可能エネルギー集積地としての役割と、供給の仕組みに関して、再生可能エネルギーの導入と利用等の促進に関する条例の策定についても視野に入れつつ、温暖化対策の牽引役となるスタンスを市として明確に打ち出すべきと思うがお考えを伺う。

4. 本町の活性化について

①本町地区の冬季間の活性化について

本町地区における冬季間活性化策について、新市長の下で、今後どのようなお考えで進めていかれるのか改めて伺う。

5. 市長の政治信条について

①所信表明では語り切れなかった想いを

積み重ねてきた行政経験に裏打ちされた市長のよりどころとするところを、今後石狩市のかじ取りにどのように活かしていかれるのか、お考えをより深く

②平和都市石狩について

平和都市宣言をし、非核自治体でもある我がまち石狩市。新市長としての平和への想いをお聞かせください。